

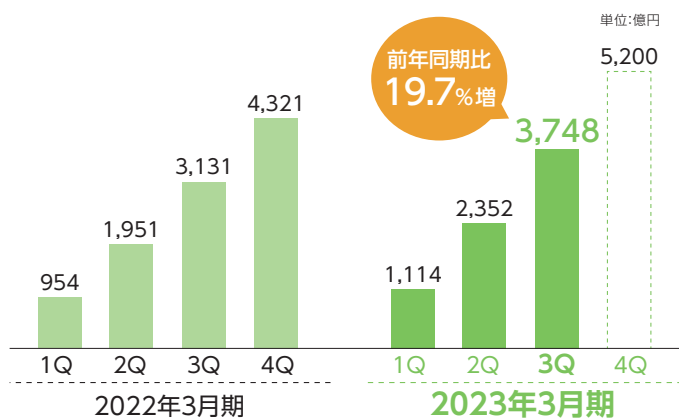
【株主のみなさまへ】  
第19期 第3四半期  
決算のご報告

2022年4月1日から12月31日まで

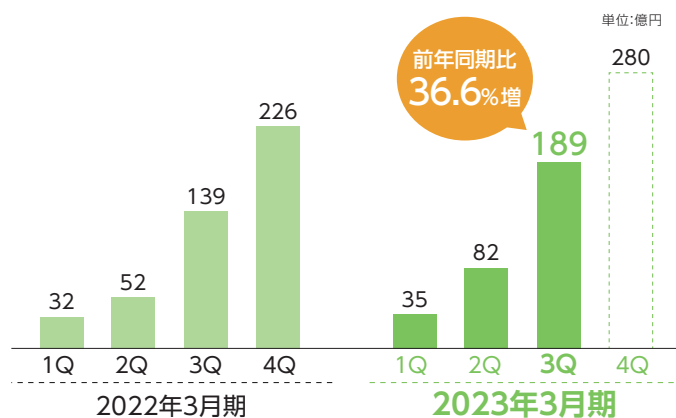
証券コード:6674

連結業績ハイライト

売上高 **3,748** 億円



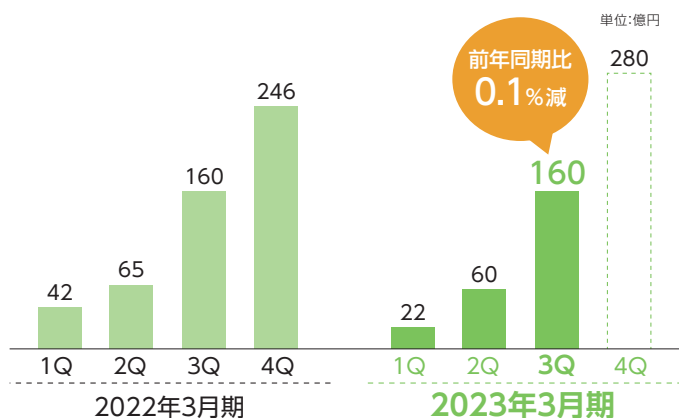
営業利益 **189** 億円



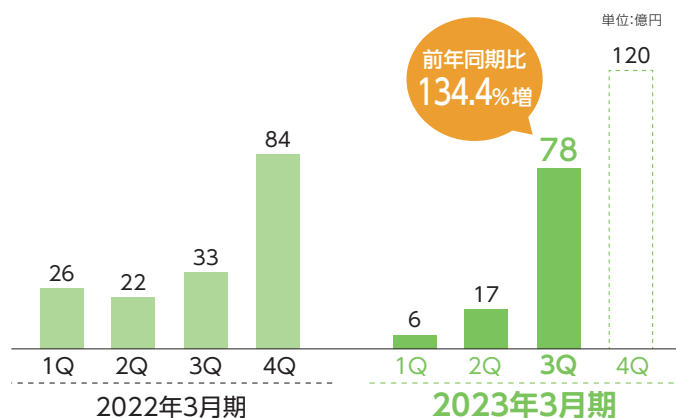
のれん等償却前営業利益  
(2023年3月期3Q)

**197** 億円 (前年同期比31.4%増)

経常利益 **160** 億円



親会社株主に帰属する  
四半期(当期)純利益 **78** 億円



のれん等償却前親会社株主に帰属する  
四半期純利益(2023年3月期3Q)

**86** 億円 (前年同期比101.1%増)

## TOP MESSAGE

# 売上高・営業利益は過去最高となりましたが、 経常利益は、持分法による投資損益の悪化や為替差損の計上などがあり 前年並みとなりました。

平素より格別のご高配、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第19期(2022年4月1日から12月31日まで)の業績や取り組みについて、ご報告申し上げます。

世界経済は、ウクライナ情勢等に起因する原材料価格上昇、エネルギーコスト増加などにより物価が上昇するなど、先行きは引き続き不透明な状況です。一方、新型コロナウイルス感染症による経済活動の停滞が緩和されつつあり、中国ではゼロコロナ政策が見直されました。また、日銀が長期金利の許容変動幅を拡大したことにより、急激に進行した円安の流れに変化が生まれました。

このような経済状況の中、当社グループでは、主としてハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売数量が増加していることや、İnci GS Yuasa Akü Sanayi ve Ticaret Anonim Şirketiを連結化した影響に加え、為替の円安影響もあり、当第3四半期の売上高は、3,748億80百万円と前第3四半期に比べて617億33百万円増加(19.7%)しました。これに伴い、営業利益は189億94百万円(のれん等償却前営業利益は197億86百万円)と前第3四半期に比べて50億91百万円増加(36.6%)しました。経常利益は持分法による投資損益の悪化や為替差損の計上等により、160億63百万円と前第3四半期に比べて12百万円減少(△0.1%)しました。前年度に減損損失を計上していた影響がなくなり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、78億49百万円と、前第3四半期に比べて45億円増加(134.4%)しました。

代表取締役  
取締役社長 村尾 修



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



## 児童養護施設で 「GSユアサ 小学生ECO絵画コンクール」 ワークショップを開催

当社のグループ会社である株式会社 ジーエス・ユアサ バッテリー(以下、GYB)は、SDGsの取り組みとして2009年より「GSユアサ 小学生ECO絵画コンクール」を開催し、小学生のお子様を対象に「しぜん」を題材として描かれた絵画作品を募集しています。今年度は同コンクールのワークショップを東京都立川市の児童養護施設で2022年10月22日に開催しました。

ワークショップにはスパルタンレーサーの陣在ほか選手をお迎えし、こどもたちにスパルタンレース\*の魅力や今後の目標や夢などを語っていただいた後、今年度のECO絵画コンクールのテーマ「たいせつにしよう みんなのしぜん」に沿って、環境について一緒に考えながら絵画を描きました。また、陣在選手とGYB湯浅社長で「環境対談」を行い、競技の中で気付く環境に関する問題やGYBが目指す環境に配慮した将来像などについて意見を交換しました。

今後は社員参加型でのこども支援を目的としたボランティア活動などを展開し、SDGsの取り組みを強化してまいります。

\*スパルタンレースとは、世界最高峰かつ最大級の障害物レースで、世界40か国・年間170レース以上開催されています。



絵を描く子どもたちを見守る陣在選手



陣在選手がスパルタンレースの説明をする様子

詳しい内容は  
こちら

<https://gyb.gs-yuasa.com/csr/workshop/>



陣在選手と  
GYB湯浅社長の  
対談記事はこちら

<https://gyb.gs-yuasa.com/csr/workshop/pdf/taidan01.pdf>

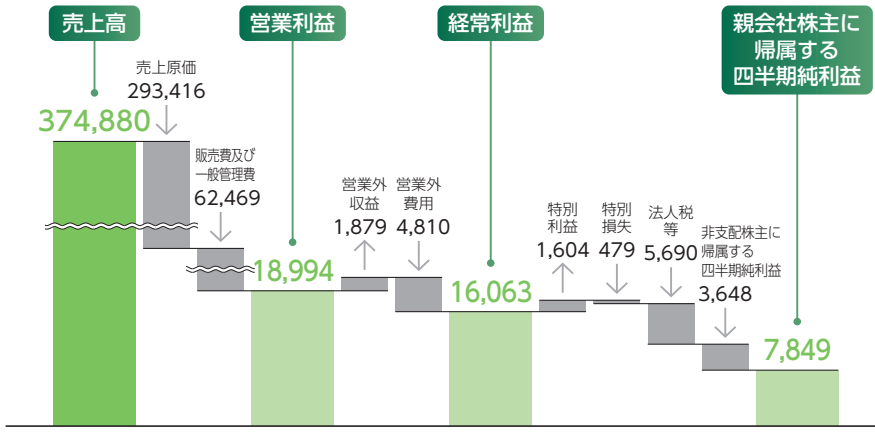




# 連結損益計算書

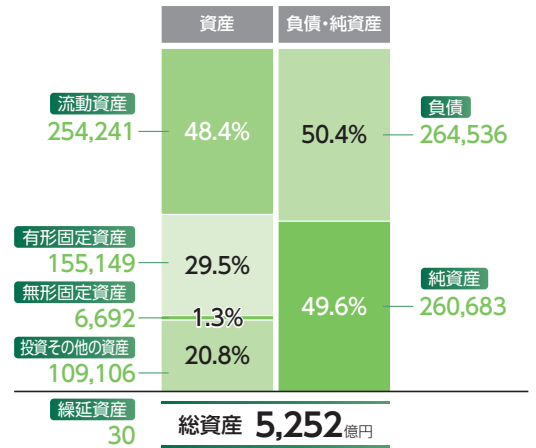
[当第3四半期(累計)] (2022年4月1日~12月31日)

(百万円)



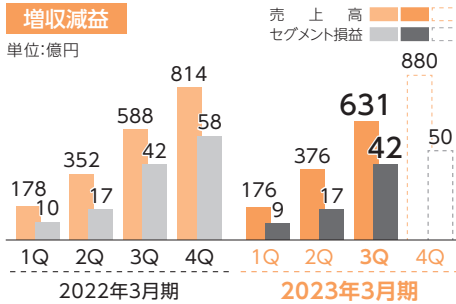
# 連結貸借対照表

[当第3四半期末] (2022年12月31日) (百万円)



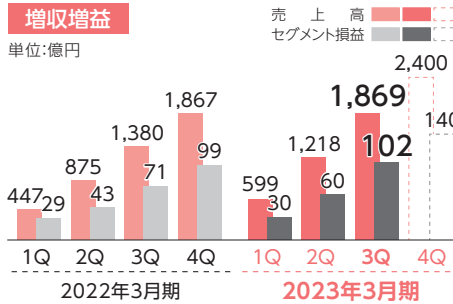
## セグメント別連結業績

### 自動車電池事業(国内)



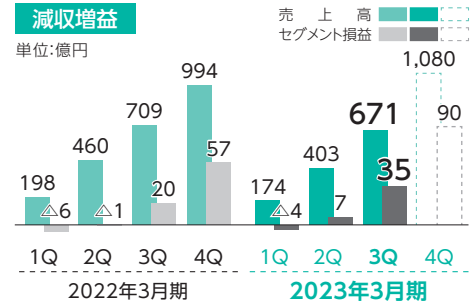
- ▶ 新車向け販売数量は新車メーカーの減産の影響で前年並みに推移
- ▶ 補修向け販売数量は微減となったが、値上げなどの影響で売上高が増加

### 自動車電池事業(海外)



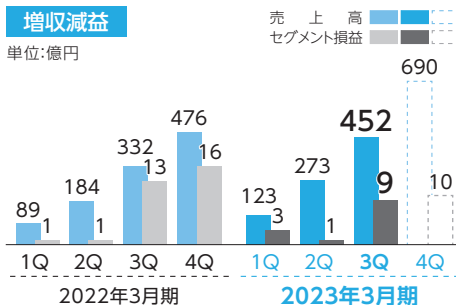
- ▶ 東南アジアにおける自動車用・オートバイ用の販売数量は好調を維持
- ▶ トルコ拠点の連結化により自動車用販売数量が増加
- ▶ 売価の見直しや為替の円安影響により売上高が増加

### 産業電池電源事業



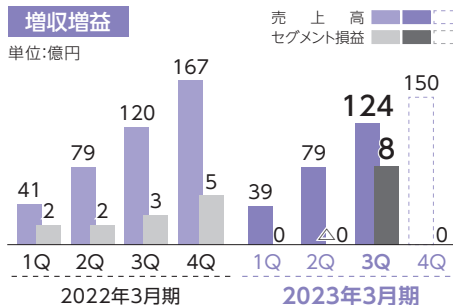
- ▶ 北海道大規模風力発電向けリチウムイオン電池の納入が前年度で完遂したことで売上高が減少
- ▶ 再生可能エネルギー用リチウムイオン電池の販売が増加
- ▶ バックアップ用電池電源装置はミニUPSの部品長納期化により売上高が減少

### 車載用リチウムイオン電池事業



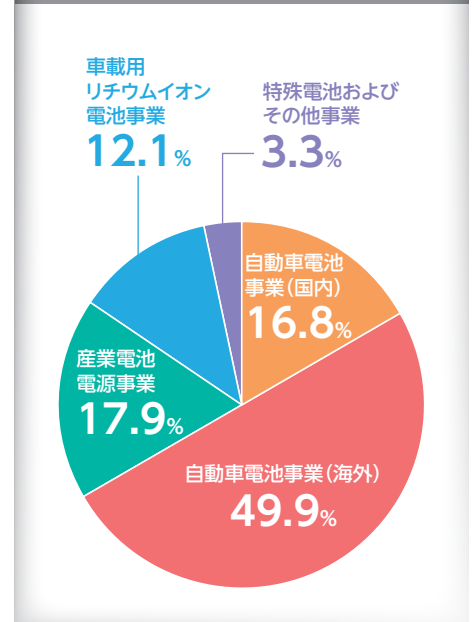
- ▶ ハイブリッド車用リチウムイオン電池はブルーエナジー第2工場の稼働開始により販売数量が増加
- ▶ プラグインハイブリッド車用リチウムイオン電池は搭載車種の販売が減少

### 特殊電池およびその他事業



- ▶ 航空機用リチウムイオン電池はエアライン(補修)向け販売数量が増加
- ▶ 航空機用リチウムイオン電池の販売増加や経費の減少によりセグメント損益が増加

### 売上高構成比



(注) セグメント損益はのれん等償却前営業利益です。

## Topics 1

### Hondaと高容量・高出力なリチウムイオンバッテリーに関する協業に向けた基本合意を締結

当社は、本田技研工業株式会社と高容量・高出力なリチウムイオンバッテリーに関する協業に向けての基本合意を締結しました。今後、2023年中の合弁会社設立を目指し、具体的な協議を開始します。

両社は、急速に拡大するバッテリー需要に対応するため、グローバル市場において高い競争力を持つリチウムイオンバッテリーと、その製造方法を研究開発するとともに、主要原材料のサプライチェーンや効率的な生産システムを構築することを目指し、今回の合意に至りました。

#### ●この合意に基づく、両社の合弁会社設立に向けた検討範囲

- EV搭載用を中心とした高容量・高出力なリチウムイオンバッテリーおよび、その製造方法についての研究開発
- 研究開発に関する特許等の知的財産の構築および管理
- 研究開発による技術を用いた製品や販路の企画
- 主要原材料のサプライチェーンを含めた効率的な生産オペレーションの設計等



調印式の様子

(左:当社社長 村尾 修、右:本田技研工業株式会社 取締役執行役専務 青山 真二氏)

2023年1月23日のニュースリリースはこちら  
[https://www.gs-yuasa.com/jp/newsrelease/article.php?ucode=gs230110173720\\_1262](https://www.gs-yuasa.com/jp/newsrelease/article.php?ucode=gs230110173720_1262)



## Topics 2

### 全固体電池の技術開発に関して大阪公立大学との共同研究を開始 ～NEDOグリーンイノベーション基金事業「先進固体電池開発」を加速～

当社は、2022年4月に採択された国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の「グリーンイノベーション基金事業/次世代蓄電池・次世代モーターの開発」※(採択テーマ名:「先進固体電池開発」)について、大阪公立大学との共同研究を開始しました。大阪公立大学 大学院工学研究科 応用化学分野 無機化学研究グループ(林 晃敏教授)は、固体電解質の劣化解析において、これまででも多数の優れた研究成果を報告されてきた実績があり、当社が独自開発している固体電解質の分析・解析について共同研究を行うことで、本プロジェクトを加速させ、全固体電池の早期実用化を目指します。

#### ●「先進固体電池開発」の開発項目

- 高いイオン伝導度と優れた耐水性を兼ね備えた固体電解質の開発
- コバルト含有量が少ない高容量正極開発
- 長寿命かつ高容量を有する負極開発
- 大量生産を可能にするセル設計・製造プロセス開発

※本事業は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の助成事業(JPNP21026)により実施されるものです。

2022年11月21日のニュースリリースはこちら  
[https://www.gs-yuasa.com/jp/newsrelease/article.php?ucode=gs221119060415\\_1240](https://www.gs-yuasa.com/jp/newsrelease/article.php?ucode=gs221119060415_1240)



#### ●会社概要 (2022年12月31日現在)

商 号 株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション  
(GS Yuasa Corporation)

事業目的 電池を中心とした事業を営む傘下のグループ企業の経営戦略を策定、統括し、グループの企業価値の最大化を図る。

設 立 2004年4月1日

資 本 金 33,021百万円

本社所在地 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地  
電話(075)312-1211

ホームページ <https://www.gs-yuasa.com/jp/>

上場金融商品 東京証券取引所 プライム市場  
取 引 所

当社の株主・投資家情報サイトが各社IRサイトランキングで表彰されました!

<https://www.gs-yuasa.com/jp/ir/>



こちらからアクセスできます



#### ☑ IRメール配信サービスのご案内

当社のIRに関する最新情報をメールでお知らせいたします。

<https://www.gs-yuasa.com/jp/ir/irmail.php>

登録はこちらから

